

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

－2024年8月6日第136号－

<目次>

●情報公開裁判に負けた市教委は何を学んだのか？

■危険な JR 東海道線鉄橋下の多摩川堤防に堰板の設置が実現

▲お知らせコーナー

① 8/25 社会教育を考える川崎の会・報告と講演会

② 8/29「平和を願う灯ろう流し」

③ 8/30

③ 9/14 ゆめシネマ「福田村事件」

④ 9/16「萩坂昇生誕100年・語りつごう！かわさきのむかし話」

⑤ 10/27 ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」

★編集後記

●情報公開裁判に負けた市教委は何を学んだのか？

情報公開裁判に負けた市教委は上告を断念した理由を次のように記者会見で発表しました。

「控訴審判決は、教育委員会の主張を認めない受け入れ難いものであり、上告等に向けた検討をしてきましたが、控訴審判決の内容について上告等の理由を十分に見い出すことが難しく、上告等を行ったとしても、教育委員会にとって有利な結果が得られる可能性は極めて低く、結論の先延ばしを図るに過ぎないと判断したため。」

この説明では裁判の結果を反省している様子がまったく窺えないため、市教委の担当者に説明を求め7月10日に懇談を行ないました。

懇談で判明した上告断念後の市教委の動きと考え方をご報告します。

出席者は市教委庶務課1名(担当課長)、指導課2名(課長・係長)、私たち市民は11名でした。

<なぜ判決が「受け入れ難いもの」なのか？>

音声データを非公開とした当時の判断は間違っていないと思っているが、過去の例から見ても高裁の判決を逆転する可能性はないと判断した。

司法の判断には従わざるを得ない。

司法の判断を受け入れることで、結果的に情報公開への姿勢を見直すことになるとの事でした。参加者から、非公開部分を狭めより公開を広げるよう求める意見や、公費を使った裁判である以上総括を行ない反省点を明らかにするべきではないかとの指摘がありました。

担当者からは、会議では時限的非公開(とりあえず非公開で会議をするが、非公開の理由がなくなれば議事録は公開する)の割合が増えているが、教育委員会会議は原則公開であり、情報公開を前向きに判断しているつもりであるとの回答でした。

また、判決は重視するが今のところ(音声データ以外の部分の公開を現状以上)拡大することは考えていない、裁判の総括を行うつもりはないとも発言しました。

<音声データ(録音)の保存期間はどれくらいなのか>

『川崎市教育委員会事務局音声データの取扱いに関する要綱』では、音声データは軽易な公文書として取り扱おうとし「音声データに係る議事録等が完成したときその他事務処理上音声データの保存の必要がなくなったときは、速やかに廃棄する(第4条2項)」と書かれています。

裁判で勝って音声データの開示が認められても、肝心のデータが「速やかに廃棄」されてしまえば開示しないことと同じです。

この点について説明を求めると、教育委員会会議の音声データはこの規定にあてはまらないので保存期間は1年と確認できました。

教科用図書選定審議会の音声データについての保存期間は、審議会の音声データの保存期間についての規定は見つかっていないが短期間で廃棄することはしていない、との説明でした。

「川崎市情報公開条例(第2条)」では、電磁的記録(音声データ等)を公文書として定めています。たとえ「軽易な公文書」でも、公文書としての保存期間がはっきりしないなどあってはならないことです。

今回の懇談でも、担当者からは「市民と行政の協働の必要性は認識している」、「課題があれば懇談の場を持つこともあり得る」との発言がありました。

これからも粘り強く取り組み、市民からの意見を行政により広く反映できるよう、多くの皆さんとの連帯を深め闘って行きたいと思います。

・お知らせ

裁判報告会

10/12(土)13時30分～16時

高津市民館第5会議室

報告者:小沢弘子弁護士(弁護団:かながわ市民オンブズマン事務局長)

畑山 裕(情報公開制度を活かす川崎市民の会)

■危険な JR 東海道線鉄橋下の多摩川堤防に堰板の設置が実現

当会ホームページのタイトル写真にもなっている、JR 東海道線鉄橋下の低堤防問題。

6月中旬、多摩川堤防が国基準より約1m低くなっている箇所に「堰板」が設置されました。

渡辺学市議(幸区)が6月議会の一般質問に向けて準備をしているさなかに、市の担当者から「国交省と相談の上、川崎市が堰板を設置した」との回答で明らかになりました。

<決壊の危険がある堤防箇所の改善を求め続けて>

2019年10月の東日本台風ではこの箇所の堤防から水があふれました。

低だけでなく堤防の幅も 1.5m 程度しかなく(国の基準では 6m の幅が必要)、この堤防は裏側のコンクリートが劣化して木が何本も伸びている有様でしたから、堤防からの溢水が続けば、木の根元から水が堤防本体を洗掘し、堤防が決壊する一歩手前の状態でした。

市民団体「安心多摩川の会」はこの箇所の堤防のかさ上げなどの安全対策を求めて署名運動に取り組みました。

日本共産党のはたの君枝前衆院議員は2020年2月の国会質問でこの堤防かさ上げを含め多摩川の水害対策を要求。昨年 11 月には国土交通省に「2024年の梅雨どき・台風シーズンに間に合うように緊急の対応を」と予算要望を行いました。

川崎市議会でも共産党市議団が繰り返しこの箇所の堤防のかさ上げと強化を求めて質問を続けました。市民運動と日本共産党が共同して対策を求めてきたのです。

<画期的な堰板の設置！だがこれで十分なのか？>

こうした中で、堤防の不足している高さ1m分を補う「堰板」が設置されたのです。

「野党には実現力がない」などと批判をされることがありますが、市民の運動と共産党が力を合わせれば、政治を動かせることがこのことから明らかになったのではないのでしょうか。

「堰板」の設置は画期的なことですが、本当にこれで十分なのか、大いに疑問です。

堰板の厚さは約 40cm。すぐ下流の本町市営住宅前の堤防は国の基準に合わせて幅6m(天端幅)に拡幅されています。その 15 分の 1 しかありません。

東京側の堤防は、対岸の多摩川の野球場3面分を挟んだ500m先にあります。

増水時にはこの40cmの堰板で川幅500m分の水を長時間受け止め続けることになります。

しかも多摩川はちょうどこの東海道線・京浜東北線ガードの部分に向かって湾曲しているため、水の力がこの堰板に特に強く加わることになります。

もしこの場所で堤防が決壊すれば6時間程度で川崎区のほぼ全域と幸区の約半分の地域が浸水することになります。

5年前よりさらに温暖化が進んでおり、秋田・山形でも堤防が決壊する大洪水が発生しています。

同じことが多摩川で起こらないとは言えません。国基準どおりに堤防を急いで嵩上げ・拡幅することは最低限の国の責任です。

また本来ならば超党派の動きで実現させるのが当たり前のことではないでしょうか。市民の運動で必ず実現させましょう。

片柳すすむ・通信員

★お知らせコーナー

①「社会教育を考える川崎の会」の活動報告&竹信三恵子さん 講演

『指定管理者制度と非正規労働者』『官製ワーキングプアの日本の実態は？』

8/25(日)14時～16時半

多摩市民館3階大会議室

資料代:500円

問合せ

haz30210@gmail.com

準備の都合上、なるべく事前申し込みをお願いします。

主催:社会教育を考える川崎の会

[詳しくはこちら](#)

②第12回「平和を願う灯ろう流し」

8/29(木)(雨天翌日)

17時～19時

川崎市平和館&二ヶ領用水

問合せ:090-1844-8233(清水)

主催「平和を願う灯ろう流し」実行委員会

[詳しくはこちら](#)

③川崎市ふれあい館 人権尊重学級

「人権尊重の未来を拓く」(3回)

会場:川崎市ふれあい館

川崎市川崎区桜本 1-5-6

8/30(金)18:30

講師:安田浩一さん

9/20(金)18:30

講師:中村一成さん

10/25(金)18:30

講師:山岸素子さん

参加費無料:定員になり次第締め切り

メールまたは電話で申し込み

fureaikan@seikyu-sya.com

044-276-4800

主催:川崎市ふれあい館

川崎市教育委員会

[詳しくはこちら](#)

④多摩川水害川崎裁判口頭弁論

9/5(木)14:30 開廷

14時より事前集会

横浜地方裁判所・川崎支部 1号法廷

主張のやりとりから立証段階へ。

多数の傍聴をお願いします。

[くわしくはこちら](#)

④ゆめシネマ「福田村事件」

9/14(土)

①9時 ②12時 ③15時 ④18時

かわさきゆめホール

前売予約:1,000 円

当日:1,500 円

障がい者・学生以下:500 円

お申し込み:044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

[詳しくはこちら](#)

[公式サイト](#)

⑤【川崎市制・萩坂昇生誕】どっちも 100 年！

語りつごう！かわさきのむかし話

9/16(月・祝)11 時～17 時

中原市民館:2 階ホール

予約不要、当日参加 OK、途中の出入り自由

問合せ:044-935-0313/090-6707-2488(萩坂心一)

主催:かわさき民話を愛する会

[詳しくはこちら](#)

⑥ゆめシネマ「〇月〇日、区長になる女」

10/27

① 9 時 ② 12 時 ③ 15 時(監督アフタートーク)④ 18 時

かわさきゆめホール

前売予約:1,000 円

当日:1,500 円

障がい者・学生以下:500 円

お申し込み:044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

主催:ゆめホールシネマ倶楽部

[公式サイト](#)

★編集後記

新型コロナの第 11 波が猛威を振るっています。

新規感染者は5月上旬から12週連続で増加！感染が広がり、陽性者数は昨年夏の第9波を上回る勢いになっています。

高齢者や基礎疾患のある人が重症化し医療崩壊が起きると懸念されています。

コロナは後遺症も深刻です。

現在流行しているオミクロン株の変異株「KP・3」は感染力が強い。

コロナ感染は例年8月にピークを迎えるので、これからが危険水域です。

あの標語「密閉・密集・密接(三密)」を忘れずに、酷暑の8月を乗り切りましょう。

それにしても、いざ、発熱が始まったときに、もう一つの心配は、コロナ関連費用が高額なこと。

近くの医院に聞くと、3割負担の場合、PCR検査をする診察料込みでと、約4000円以上。

10月から始まる予定の65歳以上の方へのワクチンは、約7000円。

重症化が心配で治療薬を頼むと、ラブレリオ(重傷者用)が2万6千円、ゾコーバ(中軽傷者用)が1万5千円かかると言われました。

新型コロナの治療への公的支援が全廃された結果です。

そのため解熱鎮痛剤だけを求める患者が増え、医者にかからず市販薬で済ます受診控えも広がっています。

実は私も、7月中旬にコロナに感染し、3日間38度を超える発熱が続きました。

医者に行く気力もなく、ただ、寝るだけの数日間でした。

熱が下がってからも、1週間は咳が続き、味覚が鈍り、食欲がなくなりました。

自分の体験からも、コロナ感染への公費助成の復活はどうしても必要だと痛感しています。

日本共産党国会議員団や新日本婦人の会は岸田首相と武見厚生労働大臣に、今後のコロナ感染症流行に対する公的支援の復活を求める緊急要請を行いました。

マイナカードの普及に巨額の税金をつぎ込むのではなく、国民の切実な健康不安に対する国の早急な対応が求められます。もっと声を上げていかなくては！ (H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/nOP2lWzjIFqK?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp